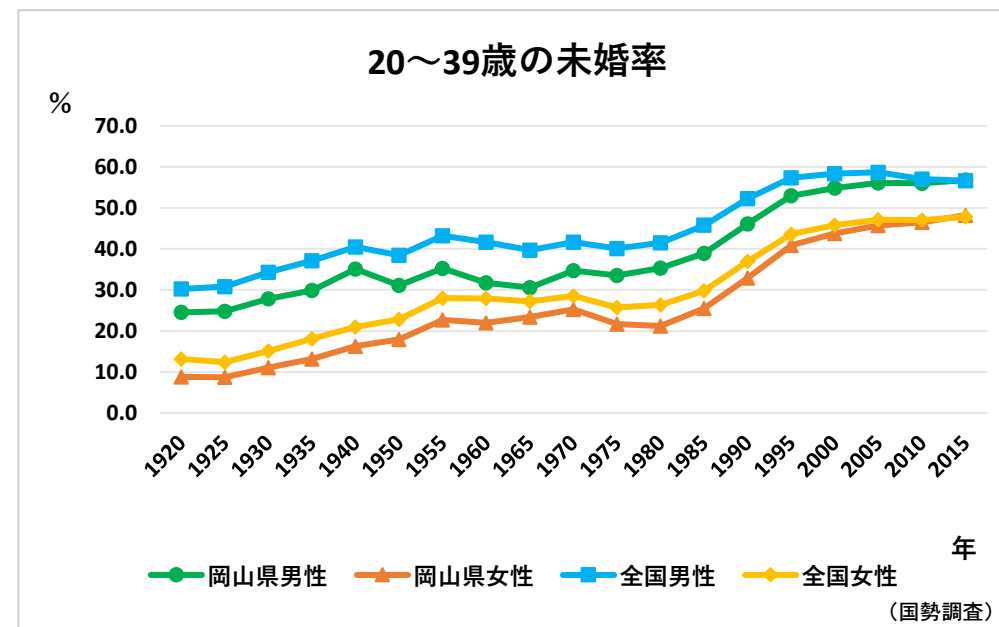
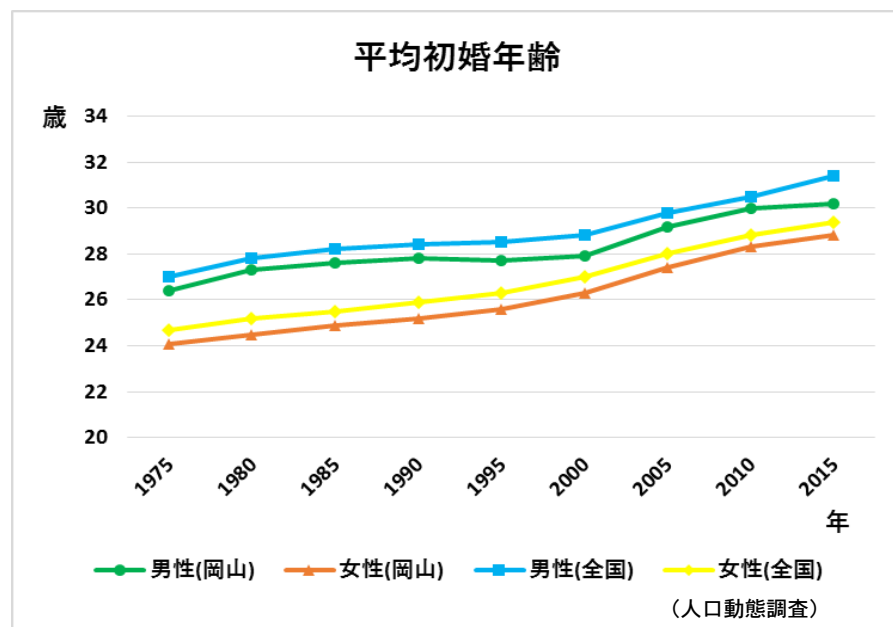


第3回 多様化するライフスタイル～今日の結婚観～



第2回のコラムの人口ピラミッドの推移から、少子高齢化が進んでいることが分かりました。少子化の要因のひとつとして、「晩婚化、未婚化」が挙げられています。

では、実際に晩婚化や20代と30代における未婚化がどれだけ進んでいるのか、グラフを見ていきましょう。



近年、平均初婚年齢が徐々に高くなっていること、20代と30代の未婚率が1980年から増加していることがよく分かりますね。

結婚意思のある未婚者に独身である理由を尋ねてみたら、
「仕事(学業)にうちこみたい」や「自由さや気楽さを失いたくない」、
「まだ必要性を感じない」といった理由が挙げられていたよ。

※アンケートは18歳～34歳(第15回出生動向基本調査(2015年調査))



ちなみに…

令和元年の人口動態調査（概数）における平均初婚年齢

岡山県

男性 30.2 歳

女性 28.8 歳

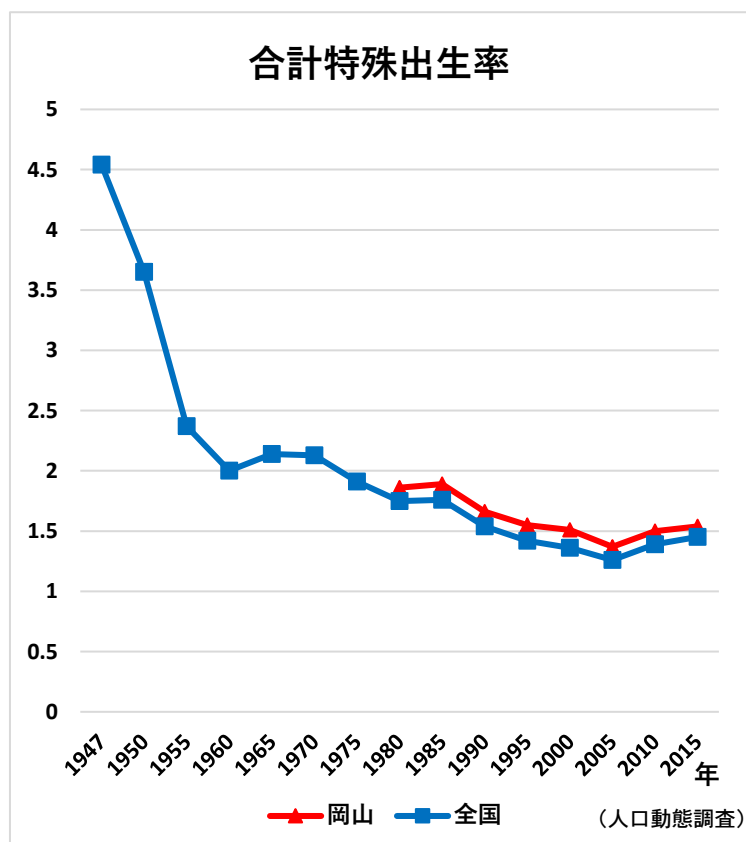
女性の平均初婚年齢は
全国で最も低い

全国

男性 31.2 歳

女性 29.6 歳

それでは次に、合計特殊出生率のグラフを見てみましょう。



未婚率の増加に伴い、合計特殊出生率（※）も徐々に下がり、1.5 の辺りでわずかに増減を繰り返していることが分かりますね。

ちなみに、合計特殊出生率を算出するのに、**国勢調査の人口が母数として使われています。**

国勢調査の結果が重要な役割をもっているのです！！

※合計特殊出生率とは、1 人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。人口を維持するためには2.07 以上であることが必要と言われています。

（今回は晩婚化、未婚化について触れましたが、この他にも少子化には、経済的理由や周囲の環境など様々な要因が影響していると考えられています。）



© 岡山県「ももっち」

今回は、**外国人人口**について取り上げるよ♪